

ゲシャ・ビレッジ農園 バンジ区画 マイクロロット  
ETHIOPIA, Gesha Village Plantation,

GESHA  
VILLAGE  
COFFEE ESTATE

## Gesha の原種を求めて



エチオピア西部のジャングル地帯ベンチマジに位置するゲシャビレッジ農園。

農園から約 20 km に位置する Gesha 種の原生林ゴリゲシャの森 (Gori Gesha Forest) は、森というよりジャングルそのもので、猛獣対策の警備員付きでの正に探検そのものでした。遙か高く聳えるジャングルを歩き続け、遭難の危機にも瀕し、辿りついたのはジャスミンの香りが広がる Gesha 種の現生地では、様々な Gesha 種が実を付けていました。農園主 Adam 氏は、ゴリゲシャの森から持ち帰った様々な Gesha 種から、カップ品質が最も優れた品種に、原生林の名前から Gori Gesha 種と名付けました。

地域 : Benchi Maji zone, Meanit Shasha Woreda

緯度: 6.532

経度: 35,487

面積 : 471ha (内 320ha にてコーヒー栽培; 7 0 0 万本)

区画 : Bangi 区画(右図赤区画)

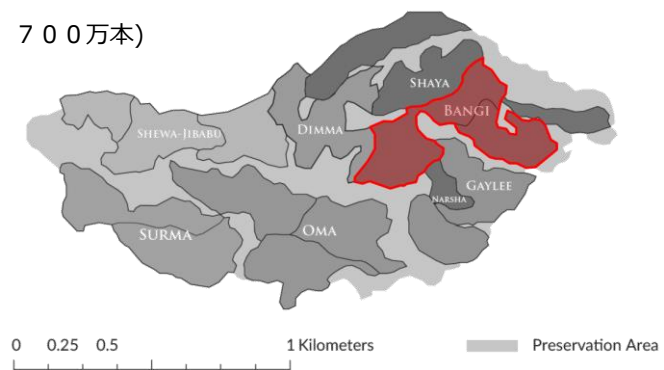
標高 : 1929-2028m

気温 : 9-30℃

収穫 : 2017 年 1 月

精製 : ナチュラル

乾燥 : アフリカンベッド上にて 31 日間



ゲシャ・ビレッジ農園は、パナマに自ら訪問・滞在し、ゲイシャ種栽培のノウハウとその難しさを身を持って体験し、それらをエチオピアにて実践しているアフリカでは非常に珍しい農園です。

各区画それぞれの土壌・気候・標高に最適な品種を選別し、正に完熟豆のみを丁寧に手摘みすることの大切さを従業員と分かち合い、そして日よけカバーや頻度の高い攪拌によって綿密に乾燥時間と温度を調整することで、Gesha 種独特の繊細な香りとマイルドなボディを保ちつつ、クリーンな後味を生み出しています。

類まれな品質を誇る希少品種 Gesha ですが、持続的な生産を続ける農家は多くありません。その理由は、ハイブリッド品種はおろか、伝統品種と比較しても著しく生産量が低だけでなく、原生種である所以でもあるのですが、チェリーの色づきが様々で、真紅やボルドーだけでなく、ピンクや赤茶など木々によって違いがあり、収穫時のピッカーに高い精度が求められる為でもあります。また病害虫に対する耐性等も未知数な部分が大きく、リスクが非常に高い品種とも言えます。

それでも Gesha 種を作り続ける理由は、誇り高きメアニット族が何世紀にもわたり守り続けてきた Gesha 発祥の地で、彼らと連携・共生し、世界最高峰の品質を生産することで、エチオピアの素晴らしさを更に世界に広めたいからです。そして、それは次の世代の礎となり、コーヒーを通じて私たちができる事と信じ続けているからです

農園主夫妻（アダム氏とレイチェル夫人）は、現状に満足せず、これからも様々な試行錯誤を行い、更なる品質の向上と共に、地域住民の生活水準の向上を目標に日々細心の注意を払いながら、一つ一つの工程を全力で取り組んでいます。

